

1. 適期の培土で生育促進！！

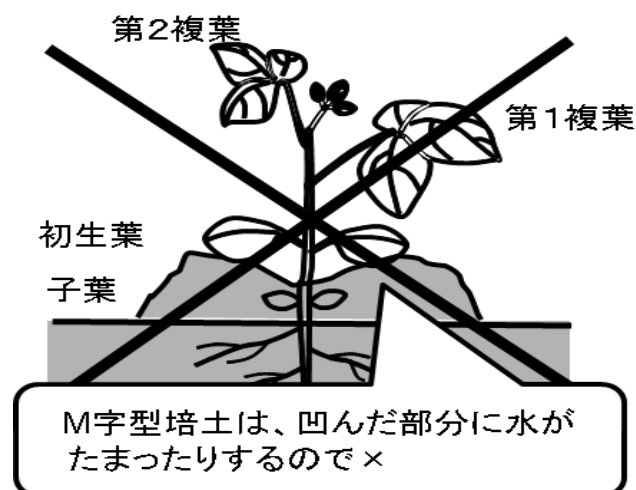
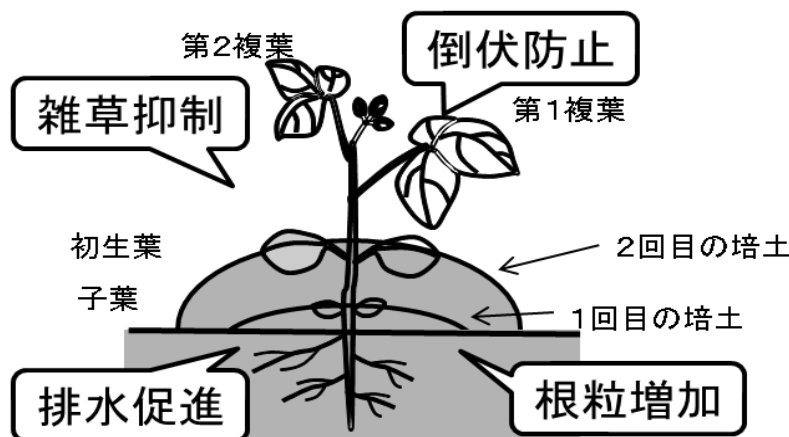
①培土

・ 1回目の培土はもうお済みですか？
→ 2～3葉期（播種後20～25日頃）に子葉が埋まる程度に行いましょう。

・ 2回目の培土

→ 4～5葉期（播種後30～35日頃）に初生葉が埋まる程度に行いましょう。

* まだ1回も培土していない方は、早急に培土してください！！
必ず2回以上培土しましょう！！



②排水溝の再点検

・ 培土によってできた溝は、額縁排水溝などにしっかり連結し、速やかな排水ができるようにしましょう。

2. 雑草防除

・ まずは、しっかり培土することで雑草の防除を行う。

・ 除草剤を使用する場合は、以下の表を参考に使用上の注意をよく確認し、正しく使用する。

散布時期	対象雑草・総使用回数	薬剤名	10a当たりの散布量	注意事項
大豆2葉期～開花前 雑草生育初期～6葉期 (収穫45日前まで)	1年生雑草 (イネ科を除く) 1回	大豆バサグラン 液剤	100～150ml (水100L)	※7カザ類、ヒユ科、トウカザ科には効果が劣る。
雑草生育3～10葉期 (収穫30日前まで)	1年生イネ科雑草 1回	ポルト フロアブル	200～300ml (水100L)	・ 枯殺するまでに7～10日かかる。 ・ 適用雑草として、スズメカビラを除く。 ※広葉雑草、ヤツリカザ科には効果が期待できない。
大豆本葉3葉期以降 雑草生育期 草丈15cm以下 (収穫30日前まで)	1年生雑草 1回	ロロックス 水和剤 (畦間・株間処理)	100～200g (水70～150L)	・ 非選択的に効くので、大豆にかからないよう注意する。 ※イネ科やツクサには効果が劣る。
大豆本葉5葉期以降 雑草生育期 (収穫28日前まで)	1年生雑草 3回以内	バスタ液剤 (畦間・株間処理)	300～500ml (水100～150L)	・ 非選択的に効くので、大豆にかからないよう注意する。

3. 病虫害防除は適期に行う！！

・ **ウコンノメイガ**：生育が旺盛で葉色が濃いほ場で発生が多く、多発すると小粒化し減収します。7月下旬に幼虫による葉巻の発生量を確認し、防除の必要があれば、7月末までに遅れずに実施しましょう。

防除の目安：7月下旬の1株当たりの葉巻数が6個以上

防除剤：サイアノックス粉剤 (4kg/10a)

・ **葉焼病**：発生が認められたらZボルドー(500倍液(150L～300L/10a))や撒粉ボルドー粉剤DL(4kg/10a)などで防除しましょう。

なお、シュウレイについては、7月下旬頃に予防散布を行いましょう。

* 農薬散布の際は、農薬使用基準を厳守し、周辺作物に飛散しないよう注意して下さい。